

## この一年の議会一般質問



### 【6月定例会】（1時間のやりとりを短くまとめてあります。）

#### ①市長に問う！

##### ○芝川地域の魅力、特徴、役割、をどう考えるか？

（市長）柚野の田んぼ、上稲子などの自然があり、また大鹿窪の遺跡、西山本門寺の信長の首塚など文化遺産 歴史的ロマンを感じる。稲瀬川の桜並木など川に対する着目が必要。タケノコ、梅、米などのフードバレー構想を発展させる食資源がたくさんある。立地的に富士宮市西の玄関口としての基盤整備が必要と思う。

#### ②芝川地域の公共施設の整備について

##### ○旧芝川町庁舎の図書館計画は、どうなっているか？

（教育次長）1階は新聞、雑誌、一般図書のスペースとし、2階は学習、読書、読み聞かせの場となるようにする。3階は検討中。蔵書は2万4千冊から始め、4万冊にする予定です。

##### ○旧保健福祉センターの利活用についてはどうか？

（企画部長）検討会を立ち上げ、幅広く活用方法を検討します。

### 【9月定例会】（1時間のやりとりを短くまとめてあります。）

#### ①芝川地区のインターネット環境について質す。

※（地域からの要望があり、約400世帯のアンケートを取り、その資料を議会に示して質問した。）

##### ○芝川地区には、希望してもADSL（高速通信）にも加入出来ないところがある。

##### 情報化社会の今日、情報格差は問題ではないか？

（企画部長）情報格差のない社会づくりを進めていきたい。情報通信事業者に対して環境整備を進めるように働きかけます。衛星通信というサービスがあるので市民に周知していきます。

※（2月15日 市役所企画部の要請によりNTT主催の説明会が開かれ、その場で加入申し込みができた。2月末加入した人からユーチューブの動画が見られるようになったとの喜びの声が届いた。）

#### ②旧芝川町の懸案継続事業について質す。

##### ○稲子地区定住促進事業は、どのようになっているか？

（企画部長）今年度は見学会を予定している。来年度以降は移住者のケアにシフトしていきたい。

※（10月から再募集を始め、11月には見学会が行われ20数名の参加者があった。）

##### ○大鹿窪遺跡の発掘調査計画は、どうなっているか？

（教育次長）県が保存管理計画の策定を進めています。

○旧保健福祉センター利活用は、その後どうなったか？

(企画部長) 検討会を立ち上げました。今、市民から意見を募集している。年内には決定したい。

【1 1月定例会】(1時間のやりとりを短くまとめてあります。)

①芝川地区道路の改良工事を質す。

※(議会質問に先立ち、南部町に出向いて南部町当局と打ち合わせてから市議会に臨んだ。)

○国道469の富士宮市に果たす役割は、非常に大きい。ルートは、どうなっているか？

(都市整備部長) 住民、関係者の納得できるルートを早期に決定したい。現段階ではルート公表は難しい。

南部町の起点は万栄橋の国道52号の交差点となります。

(市長) 南部町長とルートの事を最優先でいたそうと決意した。機会あるごとにこの部分を強く推進していきたい。

○県道の改良工事進捗はどうか？

(都市整備部長) 合併支援道路として主要地方道清水富士宮線と県道三沢富士宮線で4工区が決定し、5年間

10億円の予算が確保されています。別に、通常事業として清水富士宮線で4工区の事業が進められています。

②「信長の夢街道連合」への参加を提言

○観光誘客のために夢街道連合に加われないか？

(環境経済部長) 岐阜市などの4市は観光パンフレットなどで共同企画を図っている。当市も信長公位牌を祭った西山本門寺がある市として連携が図れるように働きかけていきたい。

③芝川地区の公園整備について質す。

○芝川地区に公園整備が望まれるが？

(都市整備部長) [ 緑の基本計画 ] の策定を予定しています。この中で全体を見据えて検討していきたい。

【2月定例会】(1時間のやりとりを短くまとめてあります。)

①森林整備事業と観光政策を質す。

○市有林418ヘクタールの森林認証取得を提言するが...

(環境経済部長) 認証取得すれば木材価値が高まるので前向きに検討します。

○市有林のオフセット・クレジットの取り組みを提言するが...

※ オフセット・クレジットとは、CO2排出量の排出者(企業)と吸収者(森林所有者)との間で金銭取引すること。

(環境経済部長) すでに取り組み、収入を上げている市がある。当市も収入になることなので前向きに検討します。

○富士宮市は地球環境を守るため森林事業に先進的に取り組む市として宣伝し、観光戦略につながると思う。また、環境庁の認定する【観光圏整備実施計画】に盛り込むことができないか？

(環境経済部長) 全国で45か所が認定を受けている。2泊3日の滞在型が条件になっており、当市は通過型観光が主流なため単独では難しい。伊豆・箱根などと連携した広域圏として検討してみたい。

②さる・イノシシ・ハクビシンなどの鳥獣被害対策を質す。

○被害の状況は把握しているか？

(環境経済部長) 鹿による立木、猪によるタケノコ、ハクビシンによるトウモロコシなどの被害が大きい。特に芝川地区の猿による被害が寄せられている。

○定年退職者やお年寄りが生きがいとして農業をしている。度重なる被害で生きがいをなくしてきている。生きがい作りに反している。対策のために監視員や調査員を緊急雇用して配置できないか？

(環境経済部長) 緊急雇用配置は考えていない。鳥獣被害の防止要請は市にもたくさん寄せられています。防止対策に猿被害も盛り込んで対応していきます。

○被害を受けて困っている人がいるので【猿に負けない知恵】を出した対策をお願いします。